

令和 4 年度決算の要因分析

(1)決算状況について

一般会計の決算見込額は、歳入 228 億 7,184 万 9 千円、歳出 220 億 1,876 万 4 千円、歳入歳出差引 8 億 5,308 万 5 千円で、翌年度に繰り越すべき財源 2 億 2,193 万 6 千円を差し引いた[実質収支](#)額は 6 億 3,114 万 9 千円の黒字となり、[単年度収支](#)は、3 億 3,924 万 3 千円の黒字となりました。

<歳 入・歳 出>

令和4年度決算の特徴としては、歳入では、地方交付税で追加交付等により 1 億 7,638 万 6 千円の増、都道府県負担金で一般国道旧170号歩道整備事業委託金の増などによる 1 億 2,477 万 3 千円の増、諸収入で学校給食の公会計化による給食費収入の皆増等による 1 億 8,068 万 5 千円の増などがあったものの、国庫支出金で子育て世帯への臨時特別給付金支給事業費補助金の皆減等による 7 億 7,884 万 3 千円の減があったほか、基金取崩の抑制による繰入金の 6,196 万 9 千円の減、また地方債発行の抑制による 3 億 9,300 万円の減などにより、歳入全体では 5 億 1,952 万 6 千円の減となりました。

歳出では、物件費で学校給食の公会計化による賄材料費の皆増等による 3 億 349 万 6 千円の増、人件費で退職手当の増等により 2 億 6,957 万 3 千円の増、補助費で新型コロナウイルスワクチン接種に係る増等により 1 億 8,122 万 7 千円の増、他に繰出金で増となったものの、子育て世帯への給付金に係る事業費の減等による扶助費の 7 億 8,120 万円の減、新型コロナウイルス感染症対策基金への積立の減による積立金の 6 億 3,663 万 4 千円の減のほか、投資的経費や公債費などの減により、歳出全体では 9 億 5,561 万 9 千円の減となりました。

これらの結果、歳入歳出差引額は 4 億 3,609 万 3 千円増の 8 億 5,308 万 5 千円、[実質収支](#)は 3 億 3,924 万 3 千円増の 6 億 3,114 万 9 千円となりました。

<経常収支比率(令和4年度:96.2%)>

経常収支比率とは、[経常経費充当一般財源](#)に対し、[経常一般財源](#)が充てられた割合を示したものです。この比率が高いほど、市が自由に使用できる財源が少ないこと(財政に余裕がないこと)を示しています。

[経常一般財源](#)では、株式等譲渡所得割交付金の減などにより、2,932万3千円及び地方特例交付金で3,201万6千円の減となったが、追加交付のあった普通交付税で1億5,987万8千円の増、地方消費税交付金等で4,117万8千円の増などにより、歳入全体(分母)で2億2,126万8千円、1.8%の増となりました。

[経常経費充当一般財源](#)では、新発債発行の抑制や既発債の償還完了に伴い公債費で1億1,438万2千円の減となったものの、学校給食費の公会計化に伴う物件費の増などにより1億7,464万9千円の増、扶助費で介護給付費の増などにより1億884万円の増及び人件費で1億8,887万1千円の増となったことから、歳出全体(分子)では、4億1,163万7千円、3.4%の増となりました。

[経常経費充当一般財源](#)の増が、[経常一般財源](#)の増を上回ったことから経常収支比率は1.4ポイント悪化した。四條畷市中期財政計画において、一般基準を95%以下と定めているため、引続き改善を図る必要があります。

【用語解説】

一般会計

地方公共団体の行政運営の基本的な経費を計上したもの。

教育、福祉、道路整備等、主に市の基本的な行政サービスを行う会計のこと。

実質収支

形式収支から、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いたもの。本来当該年度に属すべき収入と支出の実質的な差額

単年度収支

当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額

経常経費充当一般財源

市の歳出の中で、義務的経費(職員の給与等の人件費、生活保護法や児童福祉

法に基づく扶助に係る経費である扶助費、市債の元利償還金等の公債費)や維持補修費、補助費等といった毎年持続して支払うような経費に充当された一般財源のこと

経常一般財源

毎年度連続して経常的に収入される財源のうち、その使い道が特定されず自由に使用することのできる財源

(2)借金(市債)の状況について

一般会計における市債の新規発行額は、5 億 6,200 万円で、前年度に比べ 3 億 9,300 万円の減となりました。

この主な要因は、小・中学校屋内運動場空調設備整備工事が完了したことなどにより、教育債が減となったことなどによります。市債の現在高は一般会計では 131 億 1,330 万 1 千円となり、前年同期の 139 億 2,736 万 1 千円と比較すると、8 億 1,406 万円の減となりました。

(3)貯金(基金)の状況について

将来への備えとして計画的に基金への積立てを行い、健全な財政運営を図るため、適正な基金の管理に努めました。

一般会計の基金の状況は、公共施設整備基金やふるさと振興基金など合計 1 億 8,608 万 7 千円を積立てました。

また、事業の財源として活用するため、ふるさと振興基金から 234 万 9 千円、福祉基金から 104 万 7 千円、緑化基金から 29 万 8 千円の取崩しを行いました。

この結果、令和4年度末の基金現在高は、69 億 8,928 万 2 千円となり、前年度末に比べ 1 億 8,239 万 3 千円の増となりました。

基金の状況

(単位：千円)

年 度 項 目	令和3年度 (令和4年5月31日現在)	令和4年度 (令和5年3月31日現在)			令和4年度(令和5年5月31日現在) 出納整理期間中の増減		
	残 高 A	積立額 B	取崩額 C	残 高 D: (A+B-C)	積立額 E	取崩額 F	残 高 G: (D+E-F)
財政調整基金	2,326,806	1,786	0	2,328,592	146,040	0	2,474,632
減 債 基 金	51,315	1	0	51,316	0	0	51,316
公 共 施 設 整 備 基 金	2,905,614	11,164	0	2,916,778	0	0	2,916,778
退職手当基金	742,755	5,015	0	747,770	0	0	747,770
ふ る さ と 振 興 基 金	35,104	11,992	2,349	44,747	145	0	44,892
福 祉 基 金	306,231	1,880	1,047	307,064	41	0	307,105
新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 対 策 基 金	283,490	2	0	283,492	464	0	283,956
緑 化 基 金	92,833	1,238	298	93,773	0	0	93,773
森 林 環 境 譲 与 税 基 金	9,697	6,317	0	16,014	0	0	16,014
文 化 財 愛 護 基 金	53,044	2	0	53,046	0	0	53,046
合 計	6,806,889	39,397	3,694	6,842,592	146,690	0	6,989,282

※ 令和4年度主要な施策の実績報告より